



活水高等学校
活水中学校
No.21
2022年
6月3日



活ける泉

年間聖句
あなたがたは、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。
ペテロの手紙一4章10節

朽ちない冠

校長 大岩 厚

5月末から6月にかけて、県高文連主催の音楽祭が行われました。そして、運動部の皆さんにとっては大切な高校総体、中学校総体の時期となりました。これらの大会は、写真部の皆さんにとっても大切な取材対象となります。それぞれに活動している3年生の皆さんにとっては、思い出が大きい大会ですね。

この時期、友人の息子さんの話を思い出します。3年間、強豪校のバスケットボール部で頑張った生徒さんです。日々の練習に休まず参加し、熱心に鍛錬しました。高校生として、勉強との両立にも頑張りました。高校総体の前、メンバーが発表され、選手にはユニフォームが配られました。彼には渡されませんでした。ベンチメンバーにも入れなかったのです。しかし、彼はその後も熱心に部活動に取り組み、チームがベストの状態に臨めるよう、自分にできるサポートを精一杯行いました。高校総体でチームは入賞し、彼も仲間とともに喜びに浸りました。選手として活躍できなくても最後まで頑張った息子さんも素晴らしいですが、友人は、息子さんに「君はよく頑張った。選手として大会に出場できなくても、途中で投げ出さず3年間部活動を続けたことはかけがえのないことだ。最後の試合でチームのために力を尽くしたこと、それは、とても立派なことだ。」と言葉をかけリスペクトしました。

しばらく前の事ですが、日本文学者のドナルド・キーンさんが、「日本人は、最高でなければ最低だと極端に考えてしまう。これは不幸な考えだと思う。」旨の事をトーク番組で話しておられました。先日、ユネスコの調査結果として、日本の若者の心の満足度が低いことが報道されていましたが、そのような考え方が、心の満足度が低いことに関係しているのかもしれませんが、

聖書の中で、パウロが語っています。「競技場で走る者は皆走るけれども、賞を受けるのは一人だけです。あなたがたも賞を得るように走りなさい。競技をする人は皆、すべてに節制します。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするのですが、わたしたちは、朽ちない冠を得るために節制するのです。(コリントの信徒への手紙Ⅰ 9章24～25節)」。パウロは「あなた方も賞を得るように走りなさい。」と書いていますが、それは一人だけが得られる朽ちる冠(一位という賞賛)を得るためではなく、神様から与えられる朽ちない冠(競技に取り組んだ過程やその事実からあなたが得たもの)を得るために節制しなさい、と勧めています。得られるものは一人ひとり異なるかもしれませんが、それが、あなたにとって人生の宝物になると思います。

一学期後半に入ります。神様から与えられる朽ちない冠を得るために、力を注ぎ、感謝しつつ歩める毎日でありたいと思います。

6月行事予定

- 29 水 高II企業パネルディスカッション
球技大会・体育大会説明会2
- 28 火 中3修学旅行(29日)
(音)副科実技テスト
- 23 木 高校期末考査(28日)
中学期末考査(27日)
- 17 金 学校薬剤師による定期点検
学校医による健康相談
- 16 木 期末考査時間割発表
- 15 水 高II進路・カリキュラム説明会
- 14 火 球技大会・体育大会説明会1
- 11 土 高III進路・カリキュラム説明会
高III GTEC
高III医療看護模試
特進課外④
- 10 金 中総体(12日)
高総体表彰式
- 9 木 中総体壮行会
- 8 水 高I進路・カリキュラム説明会
- 7 火 (音)主科実技テスト
- 6 月 高総体・中総体代休
- 5 日 ペンテコステ
- 4 土 高総体(6日)
第1回英検(一次)
- 3 金 高総体開会式
- 2 木 高総体壮行会



高総体と中総体を前に—各部の抱負—

長崎県高等学校総合体育大会 6月4日(土)～6月7日(火)

*部名(開催都市)・抱負

新体操(長崎)

7名全員で心を一つに、ノミスの演技を目指し、インターハイの切符をつかめるよう全力を尽くします。



バスケットボール(大村)

3年生にとっては泣いても笑っても最後の試合になるので、今まで練習してきたこと、先生方に指導してもらったことを最後の最後まで出し切りたいと思います!



卓球(佐世保)

団体戦ベスト4を目標に、支えてくださった全ての人に感謝し、仲間を信じて最後まで全力で戦います。



ソフトテニス(長崎)

ひとつでも多く勝てるように、頑張ります! 応援、よろしくお願いします!



バドミントン(島原)

これまで練習してきた成果を十分に発揮し、団体戦ではベスト4維持、個人戦では上位を目指して全力で戦います。



バレーボール(佐世保)

このメンバーでできる最後の大会、今まで支えてくださった方への感謝を忘れずに全力で頑張ります。



弓道(大村)

主将の石榮を先頭に、田添、上川内、浅房、鎌田、福田、森永の7人で、大きく伸びのある射を見せたいと思います。



サッカー(長崎)

初めての高総体で、対戦相手も強く、少し不安なところもありますが、悔いが残らないように精一杯戦ってきます。



アーチェリー(長崎)

私は昨年、2位という悔しい結果だったので、今年こそは優勝してインターハイに出場します。瀬川 藍瑠



長崎市中学校総合体育大会

6月11日(土)～6月18日(日)

*部名・抱負

新体操

新メンバーで、多くの練習を重ねてきたので、心を一つにし、いい演技をし優勝できるよう頑張ります。



バスケットボール

私達は身長が低いチームですが、素早い動きと粘り強いディフェンスを武器に市でベスト8に入れるように最後まで諦めず、チーム



サッカー

私たち中学サッカー部は初めての中総体です。限りある人数ですが、1勝でもできるよう精一杯頑張ります。活水ファイ、オー



キリスト教講演会

5月23日（月）、2022年度キリスト教講演会が開かれました。

嘉手納アッセンブリー教会牧師の神山美由記先生により、「リラックスしていこう～イエス様の船に乗って～」と題し、新約聖書マルコによる福音書4章 35-41節をめぐるご講演をいただきました。先生自身の中高時代のご経験を振り返りながら、さまざまな困難があっても、イエス様が共にいて常に安心感を与えてくださり、希望を失わず、将来に向かって歩み続けることができる、との力強いメッセージでした。コロナ禍にあって、チャペルのスクリーン、教室での電子黒板やモニターを通じた動画一斉配信による開催でしたが、とても元気に熱意に溢れて語られた先生の言葉に全校で聴き入りました。



（石村直義）

花の日礼拝

5月25日（水）、26日（木）に、花の日礼拝を捧げました。花の日の行事は、神様の恵みに感謝する思いをもって全校で花を少しずつ持ち寄り、それを捧げて共に礼拝し、その花を学校近隣の公共施設や病院、福祉施設などにお届けして恵みを分かちあう、感謝と隣人愛の宗教行事です。コロナ禍にあって花の持ち寄りが遠慮されたため、感謝の献金を募り、お店より購入した花を捧げて礼拝をし、YWCAや有志の生徒の手作りカードを添えた花束をお届けする形をとりました。

総額で53,783円の献金が捧げられ、2日間で11か所にお届けすることができました。ご協力に感謝申し上げます。（石村直義）

高校生徒総会

5月20日（金）4校時、前期の高校生徒総会が開かれました。感染対策としてⅢ年生がチャペルに集合し、他の学年は各教室で放送により議事に参加しました。

昨年11月からの生徒会本部活動報告並びに各種委員会委員長からの活動報告を承認しましたが、21年度決算報告と22年度予算案説明については、途中で資料に不備が見つかり、翌週23日の月曜日に再度各クラスにて議決し、承認されました。今後とも生徒会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。（山口真樹人）

中学生徒総会

5月19日（木）の3校時に中学生徒総会が行われました。生徒会長の林咲奈さんの挨拶から始まり、前年度の決算報告と今年度の予算案審議、そして各種委員長による報告と続き、副会長の松本彩希さんは「今年度、初めての生徒総会ということで少し緊張しましたが、無事に終えることができて良かったです。各種委員会の活動を理解し、お互いに協力できるようにしてほしいです。」と話していました。（津留美幸）



英語を学ぶ意義を理解—高川将来学—

5月11日（水）、高Ⅲの将来学に活水女子大学英語学科の西原真弓教授をお招きしました。先生は異文化理解とそれを支える英語学習の楽しさと重要性についてお話しされました。初めにクイズを出題され、それによっていかに私達が文化に染まった色眼鏡の状態にいるかを指摘されました。そして、世界に目を向けていくことによって価値観や視野が広がり、様々な事にチャレンジ出来るのだということを実例を挙げ説明されました。生徒達は、「具体的であるため理解しやすく、自分の世界を広げるために今英語を学んでいるのだということがよくわかった。」と感想を述べています。（平尾淳一）

中学特別行事

5月20日（金）、中学各学年で特別行事が行われました。

中学1年は「命」をテーマにペンギン水族館を訪問し、ペンギンの生態などを学びました。



中学2年は「平和」をテーマに、平和公園近隣の被爆遺構をめぐるりました。

中学3年は、小学校向けのリーフレット作りを、オンラインでプロの方のアドバイスを受けながら進めました。（長門祐二）



中学英語暗唱大会

5月12日（木）6時間目に中学英語暗唱大会が開かれました。春休みの課題となっていた暗唱を二年生から4人、三年生から4人発表しました。

結果は、以下のとおりです。
1位 三年 富田麻裕さん
2位 二年 平田笑子さん
三年 渡辺なおさん
3位 三年 竹永ちうらさん
（平尾淳一）



今月の聖句



「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。」（フィリピの信徒への手紙4章6節）

相田みつをさんという詩人が、こんな詩を書いています。「他人の物差し、自分のものさし、寸法がちがうんだな」この詩は、自分のものさし、つまり自分の中にある価値観と他人の物差し、他人の価値観は違うということを行っている詩です。ついつい自分の価値観で相手のことを考えがちです。同じことが起こっても、受け取り方は様々です。ですから、自分のものさしで相手をはかっても、うまくはかれないことが生じてきます。しかし、その人にとってはその出来事がとても嬉しいことなんだとか、とても辛い思いをしたんだなというように相手を感じることはできます。相手と同じ気持ちになることは難しいかもしれませんが、相手を思い遣り、祈ることができます。

私は自分が辛くてどうしようもなくなった時に、私のことを祈ってくれている人がいることを知り、とても嬉しくて励まされました。みなさんの祈りは、誰かを元気にする力があると思います。創設者ラッセル先生が「活水は祈りの子」と言われました。私たちがお互いに思い遣って祈っていくことで誰かの助けになることを覚えて今日からも歩んでいければと願っています。（濱口未希）

大会等成績

〈音楽〉

長崎県高等学校総合文化祭-合唱部門-
長崎県高等学校連合音楽会
出場 樟Twinkle Stars「群青」

長崎に元氣と勇氣を与え隊第二弾2022
出演 中高吹奏楽部

〈馬術〉

国民体育大会 強化選手指定書授与
安元喜愛 原口萌々夏

ナガサキホースショー 低障害飛越競技(50cm)
原口萌々夏第2位

〈放送〉

NHK杯全国高校放送コンテスト県南地区大会
アナウンス部門

優秀賞 渡辺あい

朗読部門

優秀賞 浅井滯奈 石田彌月
優良賞 古井理子 高橋明日美

（山口真樹人）